



一般財団法人 愛知県バスケットボール協会

〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄五丁目13番21号 バネ協名古屋センタービル8階 TEL 052-253-9400 FAX 052-684-7799

AICHI BASKETBALL ASSOCIATION #6F 5-13-21, Sakae, Naka-ku, Nagoya-City, Aichi, 460-0008, JAPAN TEL +81-52-253-9400 FAX +81-52-684-7799

2025

一般財団法人 愛知県バスケットボール協会

U12 部会  
チーム説明会

2025年4月19日(土)  
アイプラザ半田 講堂

## 2025 U12部会 チーム説明会

### 次 第

9:30 U12部会長あいさつ

9:40 大会参加の諸注意事項について

複数チームのエントリー方法について

前期リーグ大会参加費の領収書について

マンツーマン推進について

審判講習会（新ルール）について

10:45 インテグリティに関する講義

講師： 株式会社アイアイ

豊田 則成 様

テーマ：『バスケットボールに関わる大人のインテグリティ』

【“ マルトリ” から子どもを救う！】

## 大会参加の諸注意事項

U12部会

コーチ、保護者代表者は、以下の事項等に関し、プレイヤー、スタッフ、保護者に必ず周知ください。

### <準備>

- 1 参加申込書に必要な事項を記入（入力）の上、期限までに必ず送ること。プレイヤーやスタッフの追加も同様です。参加費も必ず期限までに振り込むこと。
  - ※ 参加費は、「略称チーム名・男女」で振り込むこと。
  - ※ 参加費を現金で集金する場合は、つり銭がいないよう準備すること。
- 2 ユニフォームは、白色と白以外の濃い色の2色を準備すること。
- 3 参加チームが確定し、組み合わせが決定すると、組み合わせ日程表、競技取り決め事項、大会注意事項等を送るため、その内容をチーム内に周知徹底すること。ゲーム時間や延長の取り決めについては、大会毎に異なることがあるため、必ず確認すること。
- 4 メンバー表は、ホームページよりダウンロードし、使用すること。
- 5 ベンチは、組み合わせ日程表の左側チームがオフィシャルに向かって右側とし、原則、白色のユニフォームとする。都合により本部・コーチ・審判合意のもと交換もできる。
- 6 オフィシャルは、原則、帯同オフィシャルとする。
  - ・スコアラールの役割  
スコアシートの記録、審判への合図（タイムアウト、交代）、アローを表示する。
  - ・アシスタントスコアラールの役割  
スコアボード、ファウルを表示する。また、スコアラールをサポートする。
  - ・タイマーの役割  
タイマー、ゲームロックを操作（競技時間、インターバル、タイムアウトの計測）する。
  - ・ショットクロックオペレーターの役割  
ショットクロックを操作（24秒・14秒・継続・リセット）する。
- 7 審判は、原則、帯同審判とする。帯同審判は、JBA審判E級以上のライセンスが必要となるため、必ず取得し、審判技術の向上に努めること。2チーム（男女）参加するときは、それぞれ対応できるようにすること。
- 8 チームの持ち物には、必ずチーム名を記入すること。
- 9 組み合わせ日程表に変更があるときは、U12部会ホームページにその都度掲載するため、大会前に必ず確認すること。

## <大会当日>

- 1 施設や駐車場の開場時間前から入口前に待機することは、周辺住民の苦情につながることから、指定された集合時間、開場時間を厳守すること。
- 2 前ゲーム開始までにメンバー表とチームメンバー一覧表(PDF)を本部に提出すること。  
メンバー表は、コーチ欄に記載されているコーチが提出し、最新年度のTeamJBAコーチ証(デジタル登録証可)を提示すること。また、ゲームの指揮を執るときは、必ずTeamJBAコーチ証(デジタル登録証不可、PDF 登録証可)を首から下げること。
- 3 ウォーミングアップを屋外で行う場合、声を出したアップは周辺住民の迷惑になることから、声を出したアップは行わないこと。特に名古屋市内施設は、苦情につながることから注意すること。大会注意事項に記載されているにも関わらず、スタッフ、保護者、プレイヤーに伝わっていないことが多いため、周知徹底すること。
- 4 屋外用シューズの保管、管理は、各チームで行うこと。
- 5 喫煙は、所定の場所で行うこと。所定された場所以外での喫煙は、苦情につながることから注意すること。保護者に伝わっていないことが多いため、周知徹底すること。
- 6 会場内のコンセントは使用しない。
- 7 会場準備チームに指定されたチームは、指定された時間に集合し、会場の準備を行うこと。また、最終ゲームのチームは、会場の片づけを行うこと。
- 8 諸事情により帯同審判が対応できないときは、チームで責任をもって対応すること。本部では対応しない。
- 9 チーム旗は、観覧席からの応援に支障がないよう設置すること。透明アクリル板があるときは、その下に設置すること。
- 10 会場によっては、車の台数制限があるため、チーム内による乗り合わせ、公共交通機関、民間のコインパーキングを利用すること。

## <ゲーム>

ゲームの進行をスピーディーにするとともに、コート内のアップの時間を確保するため、ゲーム開始、タイムアウト後のゲーム再開、ゲーム終了後の速やかな移動に協力ください。

- 1 競技規則については、JBAバスケットボール競技規則の「ミニバスケットボールにおける適用規則の相違点」を適用して、一部競技取り決め事項に示し、修正して行う。
- 2 プレイヤーは、他のプレイヤーに切り傷やすり傷を与えるようなもの(指の爪は短く切っておくこと)や、ヘアアクセサリや貴金属類など、他のプレイヤーに怪我をさせる可

能性があるものを着用しないこと。

- 3 同じチームの全てのプレイヤーの腕や脚のコンプレッションスリーブ、ヘッドギア、リストバンド、ヘッドバンドは全て同じ単色を着用すること。
- 4 ソックスは、同じチームの全てのプレイヤーが同じ主となる色でデザインされたものを着用すること。
- 5 ユニフォームの下にTシャツは着用しないこと。ただし、コンプレッションウェアや半袖、長袖の圧着タイツは着用できる。
- 6 ベンチは、登録メンバー15名と関係者4人まで入ることができる。
- 7 得点版に掲示するチームネームプレートは、各チームで用意し、得点版に提示すること。
- 8 交代は、着替えを済ませて、交代するプレイヤー本人がオフィシャルに伝達すること。審判が笛を鳴らして交代のシグナル、コートに招き入れるシグナル後、速やかに交代して、スムーズにゲームを再開すること。
- 9 第1・3クォーター終了後、速やかに次のクォーターに出場するプレイヤーの登録を行うこと。第2クォーター終了後は、第3クォーターに出場するプレイヤーの登録を行い、その後、スコアシートの確認を行う。
- 10 ゲーム開始（あいさつ）のとき、手紙の交換、手土産の交換は行わない。手紙の交換、手土産の交換を行うのであれば、ゲーム開始3分前までに行うこと。
- 11 タイムアウトは45秒です。35秒のブザーでプレイヤーをコートに戻し、45秒のブザーでゲームが再開できるようにすること。コートに入るとき、オフィシャルの前に並ぶ必要はない。また、チームで声かけをするのであれば、ブザーが鳴る前に行うこと。
- 12 ゲーム終了後は、速やかに荷物を持ってベンチから移動すること。相手チーム（コーチ、プレイヤー）、オフィシャル（得点）へのあいさつは行わない。また、5ファールで退場するプレイヤーは、相手チームへのあいさつは行わず、速やかにベンチに戻る。自チーム保護者へのあいさつは、観覧席で行うこと。

## <審判・オフィシャル・マンツーマンコミッショナー（MC）>

審判、オフィシャル、マンツーマンコミッショナーは、ゲームを進行するために必要な仲間です。ゲーム中の判定ミスや処置ミスは、どんなに注意しても起きることが考えられます。

ベンチや観客は、それを非難することなく、ゲームを進行する仲間として、寛容に対処してください。しかし、その寛容さに甘んじることなく、プレイヤーやベンチがゲームに集中できるよう、普段から技術の向上に向け、努力してください。

- 1 帯同審判は、JBA審判E級以上のライセンスとする。ただし、前期リーグは、年度内

取得を条件に担当することができる。その場合は、当日、本部にその旨を申し出ること。

- 2 審判を行うときには、規定された服装を着用すること。夏季の短パン、冬季の上着の長袖は、認めない。なお、セカンドユニフォーム（短パン）を着用する場合は、審判クルーで同じユニフォームになること。
- 3 オフィシャルを行うときは、大人が必ず1名付き添うこと。
- 4 審判及びオフィシャルは、当日、変更される場合があるため、メンバー表を提出するとき、本部で確認すること。
- 5 MCは、原則、帯同MCとする。MCを行うときは、必ず立って行う。基準規則等については、JBAのホームページにて、最新版を常に確認すること。
- 6 タイムアウトは、35秒と45秒でブザーを鳴らすこと。
- 7 新たに「ゲームディスクォリフィケーションマーカー（GD）」が用意され、プレイヤーやコーチを含むチームメンバーが失格・退場となった場合は、プレイヤーファウルの表示器具標識とゲームディスクォリフィケーションマーカー（GD）を掲げること。

【例】



- 8 審判は、ゲームの指揮を執るコーチに本部が指定するコーチ証を渡すとき、必ずTeamJBAコーチ証（デジタル登録証不可、PDF登録証可）を確認する。

## <コーチ>

コーチの指導方法については、競技規則上、何ら規定はありませんが、プレイヤーに対する暴言、暴力、威圧する行為は、容認することはできません。また、チームの品位や指導者の資質まで疑われることにもなります。そのような行為があった場合、U12部会は、そのチームに対して厳格な処置を行います。

- 1 コーチとは、チームの指導者であり、実際にゲームを指揮する者とする。
- 2 自チームのプレイヤーや相手チームのプレイヤーに威圧感を与えるような言動やルールに則らない行動がないようにすること。ゲーム中にプレイヤーを（コート内、ベンチエリア内）立たせ、周囲が威圧感を感じる行為もしないこと。
- 3 ベンチからプレイヤーに助言をあたえ、交代の規則に従ってプレイヤーの交代を行う

こと。また、タイムアウトを請求すること。タイムアウトは45秒です。35秒のブザーでプレイヤーをコートに戻すこと。

- 4 プレイヤーがゲームに参加するとき、他のプレイヤーに怪我をさせる可能性があるものを着用しないよう管理すること。
- 5 ゲーム中は、スコアシートに名前が記載されているコーチまたはアシスタントコーチがベンチから立ってプレイヤーに指示を与えること。同時に立ち上がることはできない。移動できる範囲は、ベンチエリア内とすること。
- 6 JBAコーチライセンスを取得している者は、ベンチでは、全員がTeamJBAコーチ証（デジタル登録証不可、PDF登録証可）を首から下げること。また、ゲームの指揮を執るコーチ、立ち上がって指揮するコーチは、必ずTeamJBAコーチ証（デジタル登録証不可、PDF登録証可）と本部が指定するコーチ証を首から下げること。
- 7 県大会、ブロック大会は、JBA公認D級コーチ以上の資格を必要とする。  
なお、ゲーム開始後、JBAコーチライセンスを取得している者が退場し、JBAコーチライセンスを取得する者が不在となった場合は、ベンチ入りしているスタッフがコーチを代理することができる。
- 8 観覧席から集中力を阻害するような行為、施設での迷惑行為、苦情があった場合は、そのコーチ、保護者が責任をもって対応すること。

## <応援>

Bリーグの人気に合わせて、応援のスタイルも大きく変化してきました。今一度、応援の方法をチームで徹底してください。

- 1 ゲーム中、審判や相手チームに対して“ファール”“トラヴェリング”と大声を出したり、立ち上がったたり、過剰なアピールをしないこと。
- 2 相手チームの“ミス”に対して、“ラッキー”と声を出したり、ベンチから立ち上がったたり、持っているタオルやうちわを振り回したりしないこと。
- 3 プレイヤーが持つうちわは、扇ぐためにあるため、うちわを叩いて応援したり、音を出したりしないこと。
- 4 相手プレイヤーのフリースローに対して、ベンチ、観覧席から集中力を阻害するような行為（大声で叫ぶ、手を振る、タオルを振り回す）はしないこと。
- 5 シュート入ったとき。ファールがコールされたときなど、ベンチプレイヤーは一瞬立ち上がることに問題ないが、立ち続けることや相手チームを“挑発”“煽（あお）る”行為はしないこと。また、ゲームの進行に支障をきたす行為もしないこと。

- 6 ゲーム中、ベンチからビデオや写真を撮ることはしない。
- 7 観客席から写真を撮るときは、フラッシュ撮影はしない。
- 8 観覧席で応援するときは、席を立つことなく、座って応援すること。
- 9 別紙、保護者の観戦マナー6選「①応援席」「②やってはいけないこと」「③撮影」「④SNS」「⑤盛り上げる」「⑥成長を見守る」を守ること。